

2007年6月21日

看護情報学プレゼンテーション

子どものインターネット利用 —健康情報獲得に焦点を当てて—

聖路加看護大学
博士前期(修士)過程2年
梅澤優子

本日のプレゼンテーション内容

1. はじめに
2. 子どもと情報
3. 子どものインターネット利用の現状
4. インターネット上の子ども向けサービス
5. 子どもがインターネットで健康情報を得る上での諸問題
6. 今後への示唆
7. ディスカッション



1. はじめに…テーマの選択理由

小学校の保健室で非常勤講師をしています

先生、貧血って
なんでなるの？

先生、膿って何か
らできてるの？

先生、鼻血～、どうすん
の？！早くなんとかして！

先生、デート何回
したことがある？



わーわー！

きゃーきゃー！

「おいおい…あなたたち…(汗)」



この子供はどうやって健康情報を獲得しているんだろう…

そもそも自分でなんとかしようという気はないのか?!

どうやったら上手く伝えられるのか…。

→子どもが自分でインターネットを用いて元気に生きていくための情報を得る可能性を探りたい!

2. 子どもと情報

子どもの情報処理における発達的特徴

小学校低学年：良いこと悪いことの判断を自律的にすることは不十分

⇒親や教師の言動にしたがって判断し、行動する傾向が強い

小学校中学年：親や教師への依存性は弱くなり、友人との結びつきが強くなる「心理的離乳」

⇒子どもの意識や行動は周囲の影響を大きく受ける

子どもの情報リテラシー

1987年 文部省

新学習指導要領「情報リテラシーの育成」

参考)小学生のための情報処理の4つの基本

<http://www.wombat.zaq.ne.jp/ashitaka/link/joho-all/joho.html>

研究)「子どもの情報リテラシーの測定」

(藤井ら、1996:日本教育心理学会総会発表論文集,38,p437)

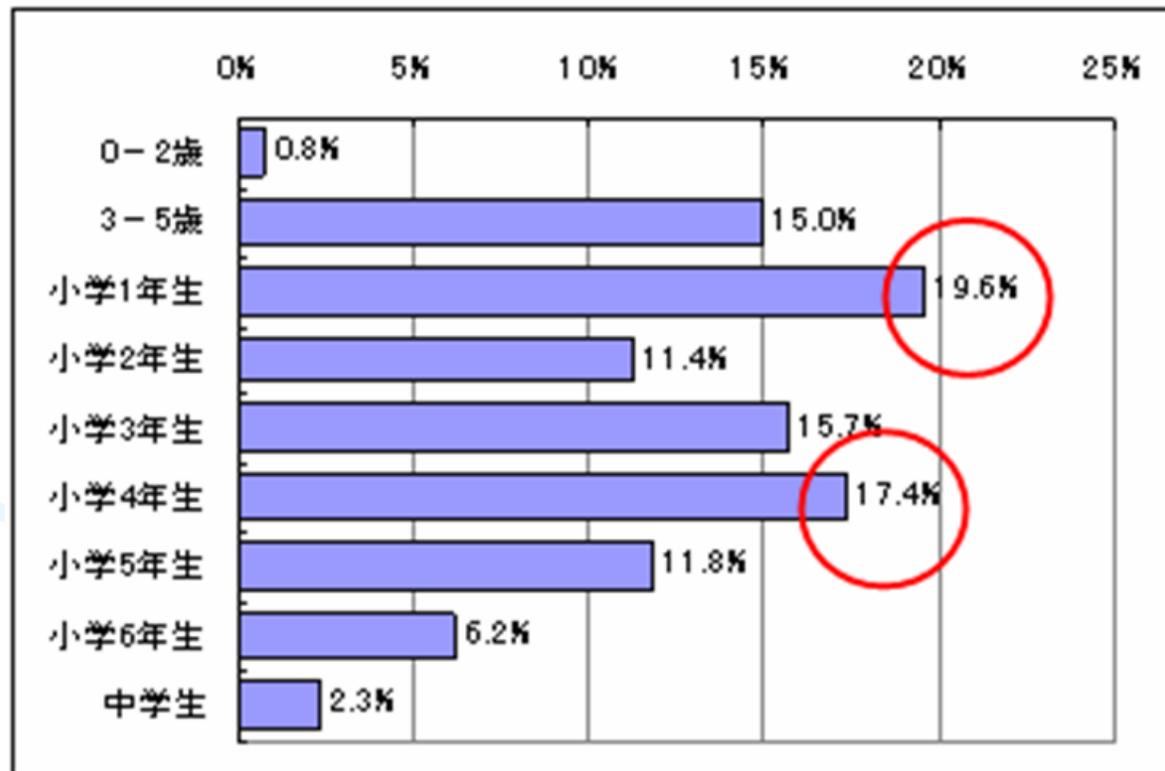
- ・家庭に情報機器が多くある子ほど高い
- ・情報機器理解度テスト得点の高い生徒ほど高い
- ☆家庭環境が情報リテラシー向上に重要な意味をもっている

3. 子どものインターネット利用の現状 2005年の調査から

平成17年6月13日(月)～6月27日(月)

実施の「第3回小学生のインターネット利用に関する調査」

子どもがインターネットを利用し始めた学齢(N=1,683)

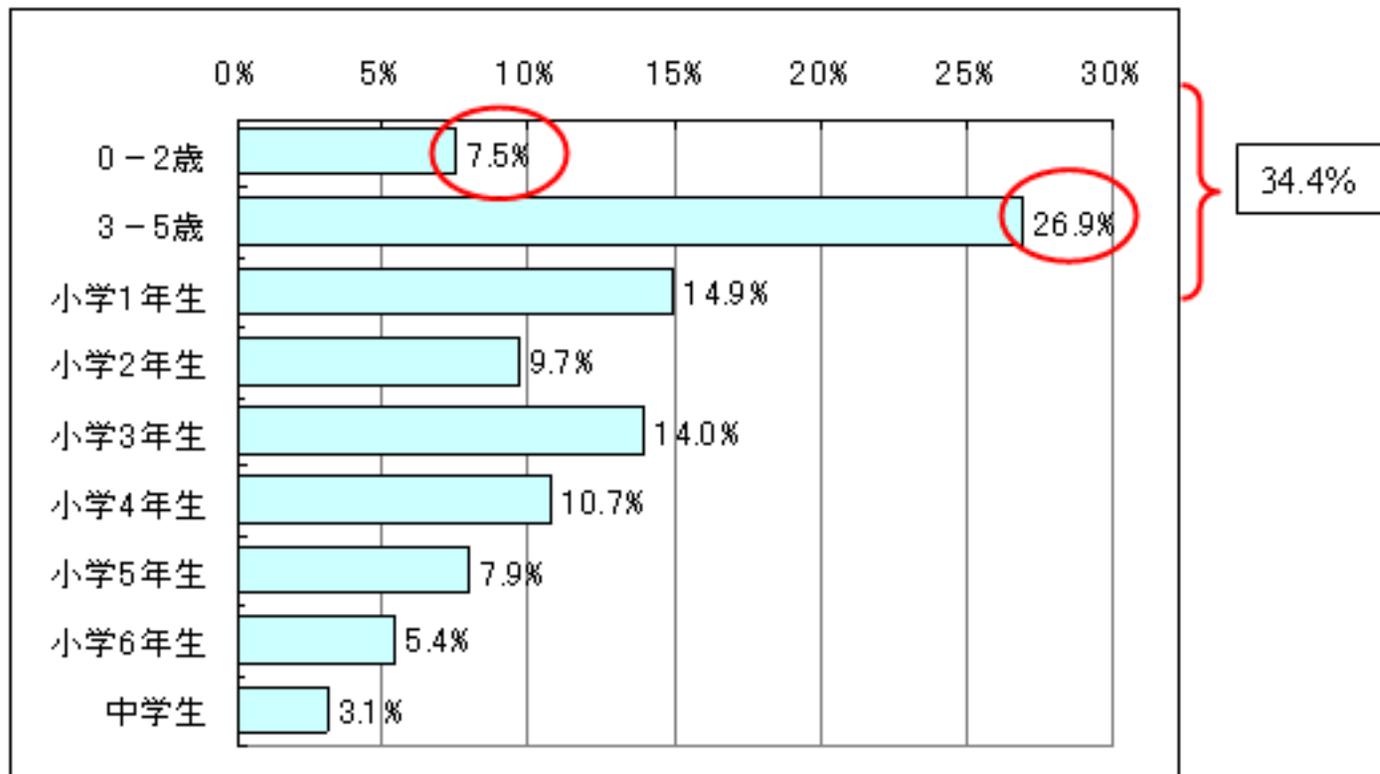


2007年度調査では…

平成18年6月23日(金)～7月10日(月)

実施の「第4回小学生のインターネット利用に関する調査」

子どもがインターネットを利用し始めた学齢(N=1,311)



gooリサーチ調べ) <http://research.goo.ne.jp/Result/000322/>

子どもがインターネット上で 情報を入力することの利点

☆「調べ学習」の宝庫としてのインターネット

☆忙しい子どもたちの学習の援助

「お稽古とか塾に行ったら5時までの図書館に
なんか行けないよ！！」(聞き取り)

- 数少ない仲間“peer”との出会い
- 人に直接聞きづらいこともきける
- 自分の気持ちを吐き出す場
- ヘルスリテラシー、情報リテラシー向上の可能性

患儿のためのオンラインサポート

・「夢の子ども病院サイト～楽観ちるどれん」

(右図:http://www.rakkan.net/children/index_real.html)

—インターネットを用いた病気をもち子供どうしのコミュニティ(日本)

・「Starbright World」

—病気の子どもだけが
イントラネット上で参加できる
オンライン・コミュニティ(米国)



(引用:和田ちひろ(2002).インターネットでつながる子どもたち
—オンラインコミュニティの可能性.ターミナルケア.12(2).131-132)

病気の子どものセルフケア支援

- ココロココ(国立特殊教育総合研究所 作成)

<http://www.nise.go.jp/jigyo/contents/cocoro/cocoro.html>

ゲームなどで病気や治療、セルフケアに関する知識を習得。『アニメーションレター』では、闘病体験や悩みなどをネット上の掲示板に掲載することができ、同じ悩みを抱える子ども同士が交流できる



子供向け健康関連サイト コンテンツの特徴



クイズやゲームの利用

視聴覚教材の利用

子どもならではの内容(性教育、体力向上、食育・給食に関連した内容など)



興味を引くイラストや
カラーの使用



理解しやすい内容
と簡単なことば

子供向け健康関連サイトの例

子どもの体力向上ホームページ

<http://www.recreation.or.jp/kodomo/>

ライオンキッズ～子どもページ

<http://www.lion.co.jp/kids/>

くすりのページ

<http://kodomo.sanofi-aventis.co.jp/>

病気とたたかう科学

<http://jvsc.jst.go.jp/live/kusuri/>

おばあちゃん、どうしたの？(なぜか「病気」ではヒットしない…)

<http://www.alzheimer.or.jp/kodomo/>

からだのノート おとなになるということ

<http://www.kao.co.jp/laurier/karada/>

子どもがインターネット上で 情報入手する上での問題点

① 有害な情報にアクセスしてしまう可能性 (引用: H18年度版警察白書

<http://www.npa.go.jp/hakusyo/h18/index.html>)

例) 犯罪、暴力、わいせつなことに関する情報など

② 誹謗中傷、個人情報漏洩などの危険性 (引用: ①に同じ)

例) 掲示板、学校裏サイト (引用: 2007.5.27毎日新聞Net)

③ 犯罪に巻き込まれる危険性 (引用: ①に同じ)

例) 詐欺、傷害・殺人など 平成15年に出会い系サイトが関係した事件では、被害者の約85%が18歳未満の児童 (引用: きっず@nifty)

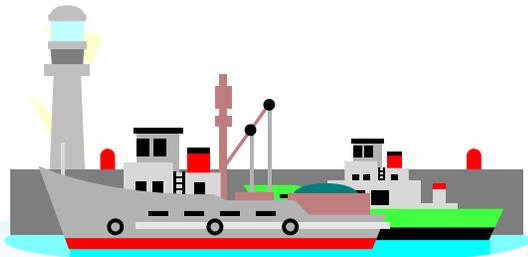
④ 身体機能、および生活面での障害 (引用: 文部科学省「子どもとインターネット」に関するNPO等についての調査研究 H15年)

例) 視力低下、運動量減少、インターネット依存症 (引用: 文部科学省「情報化が子どもに与える影響(ネット使用傾向を中心として)」に関する調査報告書 H14年)

⑤ 情報リテラシー開発が追いつかない

例) 調べて満足、内容は丸写し…の現状 (発表者の聞き取りから)

4. インターネット上の子ども向けサービス



子ども向けポータル
サイトの利用



よみがな、ふりがなツール
(Yahoo!きっず、キッズgoo)



ポータルサイト運営
側の内容チェック



有害情報へのアクセス遮断
フィルタリングサービスなど



スタートページ設定



保護者への注意喚起

必要な健康情報を得るためには？ 子ども向けポータルサイトの比較

検索結果	Yahoo!きっず	キッズgoo	BIGLOBEきっず プラザ	きっず@nifty
URL	http://kids.yahoo.co.jp/	http://kids.goo.ne.jp/index.html	http://search.biglobe.ne.jp/KIDSPLAZA/index.html	http://kids.nifty.com/
健康関連コンテンツ件数	275(「健康」カテゴリ内)	351(「健康」カテゴリ内は21件)	29(「健康」カテゴリ内は20件)	食育9件＋ 介護1件
「健康」へのアクセス法	科学－健康 (トップページ)	学校生活と教科/ 保健・体育－健康	学校と学習/保 健・体育－健康	べんきょう・学 校－そうごう
search「健康」	275件	784000件	10件	検索なし
search「看護」	2件(!!)	369000件	該当なし	検索なし
search「病気」	61件	754000件	該当なし	検索なし
search「けが」	3件(1件閉鎖)	2件	該当なし	検索なし
外観・特徴	大人向けの内容も多く、言葉の表現など難しいものも多い	通常カテゴリ以外にキッズgoo島という「学び」など独自のカテゴリをもつ	検索結果にサイト作成団体を明記してあるものもある。	検索ツールはなく、調べ学習ポータルサイトへのリンクあり

海外の子ども向けポータルサイト例

- <http://www.kids.gov/> 米国政府の開設
- <http://babloo.com/> 対象年代別に内容を分けている
- <http://www.alfy.com/> (3～8歳対象)
- <http://www.dvorak.org/kidshome.htm>
(7～12歳対象)
- <http://www.kyvl.org/html/kids/portal.html>
(ケンタッキーバーチャルライブラリ作成、サイトマップ◎)
- <http://www.pitara.com/>
(インドのポータルサイト、13歳以下対象)
- <http://www.4to40.com/>
(インドのポータルサイト、伝統的な物語なども豊富)

5. 子どもがインターネットで健康情報を得る上での諸問題

例) 鼻血のて手当の方法を知りたい

「Yahoo!Japan」

鼻血 + 手当て

http://www.jon.gr.jp/qq/first_aid/hanaji/index.html

「Yahoo!きっず」

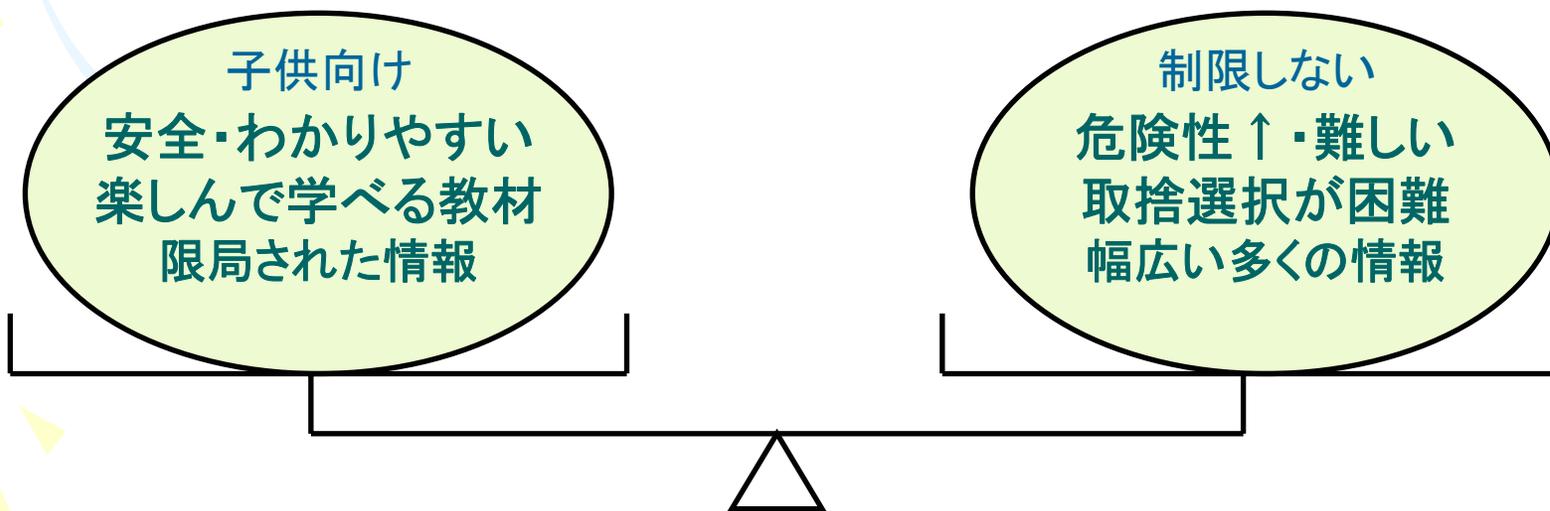
- ・鼻血 = 0件
- ・手当て = 4件

鼻血の応急手当なし！



子供向けサイトに関連した問題

- Yahoo!約24600000件⇔Yahoo!きっず18件
 (「からだ」をキーワードに検索した結果)
- 国内のサイトのみ(きっずgooは海外のものも検索可)
- 「ゲームは楽しかった！けど内容は覚えてない！！」
- 子どもの情報リテラシーに関する問題意識の低下



6. インターネットを用いた子どもの健康情報の獲得の今後への示唆



ヘルスリテラシーが高く、自分の健康に関心をもって、自分で自分をケアできる子ども

子どもに有用な健康情報の入手・活用

子どもと一緒にサイトを発展させていく試み。子どもによる子どものための健康情報の発信。

子どものインターネット利用環境の調整、発展

インターネット利用状況の評価(利用者の取捨選択の可能性、モラル)、年代別の理解度や知りたい健康情報別にカスタマイズされたサイトの充実

大人のインターネットおよび子どもの情報獲得に関する知識・技術の向上、子どもが知りたい健康情報の明確化

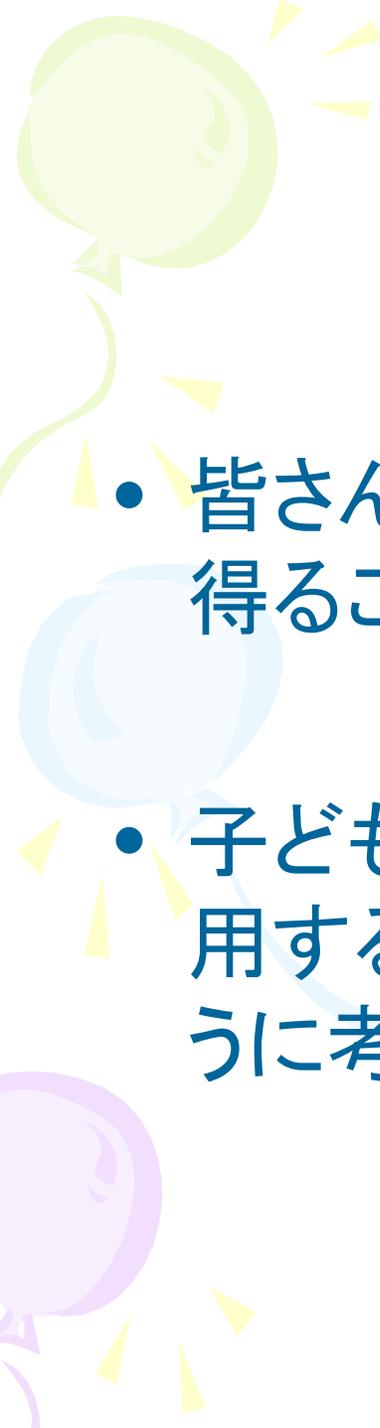
大人がまずインターネットを使ってみる。また同時に子どもの発達段階やヘルスリテラシーを周囲の大人に知ってもらう。大人が子どもの知りたい健康情報を知る。

看護職の役割

- インターネットを利用し健康情報を得るための親子への情報提供
- 子どものニーズに対応し、また子どもの発達や状況にカスタマイズされた情報源の開発
- 子どもと共に健康情報を吟味して取り入れる
- 子どもの発達段階とヘルスリテラシーを周囲の大人に広めていく



ヘルス
コミュニケーション！



ディスカッションテーマ

- 皆さんは子どもがインターネットで健康情報を得ることに対してどのように考えますか？
- 子どもがインターネットを健康情報獲得に利用する場合の看護職の役割についてどのように考えますか？